

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>「尊厳なる人間性の尊重」「文化の薫り高きホーム」「ホームは美しく輝く生活の場」「精神的。身体的に障害があっても一個人として尊重し、毎日が安全で楽しく生活でき互いに励まし支えあい入居者様が生き生きと暮らしていけるよう入居者様中心のケアを行ないます。」と理念に掲げ毎日朝礼時に職員全員で唱和している。</p>	<p>○</p> <p>今後地域での行事参加等取り組んでいけるように実践したい。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>「尊厳なる人間性の尊重」「文化の薫り高きホーム」「ホームは美しく輝く生活の場」「精神的。身体的に障害があっても一個人として尊重し、毎日が安全で楽しく生活でき互いに励まし支えあい入居者様が生き生きと暮らしていけるよう入居者様中心のケアを行ないます。」と理念に掲げ毎日朝礼時に職員全員で唱和している。</p>	<p>○</p> <p>今後も毎朝唱和することで一人ひとりが理念の実践ができるように再確認できるように継続していきたい。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>ホームの理念はパンフレットやホーム便りホームの玄関など目に留まる場所に掲示してご家族や民生委員など地域の方々に理解していただくように説明を行なっている。</p>	<p>○</p> <p>法人の年2回の広報誌により地域の方々へ理解していただくように継続していきたい。</p>
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>当敷地内の方々や民生委員、地域の方々交流を深められるように交流会の実施や事業内容の説明を行なって日常的な付き合いができるように努めている。</p>	<p>○</p> <p>ショッピング、ドライブ等地域へ出かける機会を多くし地域と交流を多くしたい。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>当法人で行われている俳句会やふれあい文化祭・夏祭りなどの行事に参加し地域の方々の交流が深められるようにしている。又、ドライブや買い物など昔から付き合いのあるところへも出かけていくようにしている。地域の小学校のこどもたちを招きお話などをしてたのしんでもらったりする。</p>	<p>○</p> <p>地域の老人会の行事に参加する機会を作りホームへ招いたりして交流するようにしたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ホームだけでの地域の高齢者への役たつ貢献はできていない。	○	地域の老人会の行事に参加する機会を作りホームへ招いたりして交流するようにしたい。地域の高齢者との交流に力をいれていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全員で行なうことにより、提供しているサービスを評価する機会として、よりよく向上していけるように努めている。外部評価をうけることで出てきた課題には再度全員で話し合い取り組んでいる。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議録を元に職員で話し合い活動した、結果を次の会議に報告している。	○	家族へも推進会議ないようを郵送している。今後も継続していけんを取り入れサービスにいかしていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	サービス担当者会議により支援センターとの連絡会議は持っている。	○	外部評価の送付など市町村の意見も取り入れながらサービスの向上に努めていきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員研修その他の研修において学ぶ機会をもっているがあまりよく理解できていない。	○	今後も地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学びの機会を持ちたい。勉強会を開きたい・研修等あれば参加していきたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に常に心がけている。ケアに対しての問題等ある場合は職員同士で朝礼・職員会議当で話し合い解決していくようにしている。	○	今後も外部研修や関連書籍で常に職員で学んでいきたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時の説明は重要事項説明により管理者、責任者が充分にわかりやすく説明するようにしている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>密に関わる中で入居者様が何でも話せるような環境作りに努めている。ご家族の面会の際お話を聞き又、手紙やアンケートを実施することで入居者様ご家族様の意見を出しやすくしている。</p>	<p>○</p> <p>今後も家族の意見、お手紙は施設全体で検討して運営に反映していけるようにしていきたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月のホーム便りと入居者様の様子のお手紙を送付している。</p>	<p>○</p> <p>今後もひとり一人の家族のご意見等いただけるようにしていきたい</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>密に関わる中で入居者様が何でも話せるような環境作りに努めている。ご家族の面会の際お話を聞き又、手紙やアンケートを実施することで入居者様ご家族様の意見を出しやすくしている。</p>	<p>○</p> <p>今後も家族の意見、お手紙は施設全体で検討して運営に反映していけるようにしていきたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月の職員会議やグループホームでの朝礼等で聞く機会を設けている。</p>	<p>○</p> <p>毎月の職員会議を行い職員の意見も会議録にて施設長に報告している。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員の協力を得て調整している。</p>	<p>○</p> <p>特別な催しを開催するときの人員の増員緊急時に対応できるようにしていきたい。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>入居者様と馴染みの職員・管理者との関係が保てるように移動、離職を最小限に抑えるように務めている。</p>	<p>○</p> <p>研修等で移動があつたりするが、できるだけ最小限にしていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人内の症例検討会、介護を勉強する会など、定期的に研修会への参加等積極的に参加を促している。	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	地域のグループホーム職員研修会への参加にて他のグループホームの職員との交流によりサービスの向上に努めている。	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	文学講座・俳句会・踊り教室など文学によるストレス軽減と座禅による精神面の安定ができるようにしている。	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	職員会議で、職員に向けての言葉の中にいつも向上心を持って介護のプロとして働くように話して職員も理解している。	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	入居者一人ひとりの伝えたい事をしっかり受け止め顔の表情などを見ながら常に声掛け行っています。ご家族からの情報を元に不安を感じることがないようにきをつけている。	○ 今後も入居される前にホームの見学等していただき安心して入居していただけるようにしていきたい(信頼関係づくりに注意していきたい)
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	家族の方々の意見・要望は、面会時に対話し、よく聴く機会を作っています。又、月1回のホームの便りで家族からも気付いた事等を返送して頂いています。	○ 今後も入居される前にホームの見学等していただき安心して入居していただけるようにしていきたい(信頼関係づくりに注意していきたい)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」 まず必要としている支援を見極め、他のサー ビス利用も含めた対応に努めている	本人家族の意見を取り入れ、その都度対応行っています。	○	その人のニーズに応じてご本人が好まれるサービス・安心 して生活していただけるようにを大切にしていきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用 するために、サービスをいきなり開始するの ではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気 に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工 夫している	家族からの情報提供などを参考にしたり、本人の意見をよ く聴いてからサービスを開始しています。	○	今後もまず職員との信頼関係ができ、他入居者の皆様と なじみの関係が持てるように工夫して取り組んでいきたい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にお かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共に し、本人から学んだり、支えあう関係を築いて いる	その人の思いを大切にし、日常生活の中で出来る事はお 願いしたり、一緒に行っています。出来ない事は、お互いに 助け合うようにしています。	○	料理の味見をしていただいたり、梅干づくりなど得意なこと は教えていただきながら入居者様と一緒に暮らしていきた い。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にお かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支え ていく関係を築いている	常に家族と連絡を取り合える関係が出来ています。	○	今後も本人と家族がより良い関係が保てるように努めてい きたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努 め、より良い関係が築いていけるように支援し ている	機会があるごとに面会があります。月1回のホーム便りで毎 月のご本人の様子を詳しくお知らせしております。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や 場所との関係が途切れないよう、支援に努め ている	人との触れ合いを大切にしています。家族や、友人がいつ でも面会できます。(日中)	○	今後もドライブ・ショッピングなど馴染みの場所へ出かけて いくようにしていきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤 立せずに利用者同士が関わり合い、支え合え るように努めている	利用者同士がいつもよい関係を保てる様、声掛け・席の配 慮などに気を付けています。	○	今後もなじみの関係を大切にお互いに一人ひとりが支え あっていけるように支援していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居時のサマリーを書いて情報の提供を行っております。退去後も様子伺いにいったりしてご本人にもこえかけしている。	○	環境の変化によるダメージが最小限にすむようにプライバシーを守りながら今後も継続していきたい。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その人の思いを大切にケアをケアプランに取り入れ、職員全体で心掛け、行っています。	○	本人が無理のないようなその人らしい暮らしの支援をいつも心がけて支援していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族・関係者の情報提供により把握出来る様努めています。	○	これまでの暮らしを大切に、ホームの生活にも取り入れていけるようにしていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ご本人の意向・又ご家族の要望を大切に又午前・午後バイタルチェックを行い、健康管理、声掛けや表情の観察にて、現状の把握が出来るようにしています。	○	今後も入居者様の能力状態に応じた支援ができるように支援していきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族や関係者の意見を取り入れています。(介護計画を送付し、家族の声を聞いています。)	○	ご本人家族の意向が反映できるように職員と話し合いながら介護計画を作成していきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	通常は6ヶ月に1回、現状変化があった場合は随時行っています。本人・家族・関係者の意見を取り入れています。	○	今後も本人家族と話し合いながら、現状に即したケア計画を作成していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個別記録を記入しています。又、朝礼時にその都度、連絡ノートに係が記入し、両棟の職員が情報を共有し、見直しに活かしています。	○	今後も情報が共有でき介護計画へ反映できるように継続していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の状況・要望に応じられる様、職員全員で話し合いなど行い、対応できるように努めている。	○	今後も継続していきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員やボランティア、消防署などの協力を得ながら支援しています。	○	民生委員や地域のボランティアとの交流など今後充実できるようにしていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	施設の行事等のお知らせや参加しやすい状況にしてあり、協力やサービスを利用する支援をしています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	月1回運営推進委員会を行い、地域包括支援センターや民生委員の出席があり、意見を取り入れています。	○	運営推進会議以外は協働していないため今後協働していきたいように努めたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人又は、家族の希望するかかりつけ医(眼科・皮膚科など)による適切な医療を受けられます。歯科医療機関も確保しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	同敷地内に病院があり、定期的な検査や必要に応じて受診している。(霧島桜ヶ丘病院には、老年精神科があり、認知症に対する診断や治療を受ける事ができている。)	○	今後も継続して健康状態に留意しながら適切な医療が受けられるように支援していきたい
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常に、日中看護職員と協働しており夜間は必要に応じて連絡が取れるようにしている。	○	今後も継続して健康管理に努め安心して生活できるように支援していきたい。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した場合は、主治医の医師に症状を伺いながら行っている。長期の場合や重症の場合は退居となります。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い段階で家族への連絡、主治医と連携している。重度化・終末期の場合はすぐ入院体制が取れるようにしている。	○	ご本人・ご家族の要望も大切にしながら理解していただき、全員で方針を共有していけるようにしていきたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	職員・主治医とのチーム体制は常にとれており、変化に備えて万全の体制で検討・準備を行っている。	○	ご本人・ご家族の要望も大切にしながら理解していただき、全員で方針を共有していけるようにしていきたい。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	環境の変化によるダメージが最小限にすむように、情報提供票とサマリーにより情報交換を行っている。	○	今後も継続していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人のプライドを損ねない言葉掛けを常におこなっていません。居室への入室はノックをし、本人の了解を得てから入室しています。	○ 理念に沿ってひとりひとりを尊重したケアの提供ができるように努めていきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自己決定できるように声掛けし、支援しています。	○ ご本人のおもいを大切にして自分で表出できない場合は家族と職員ともに相談しながら支援していきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースを尊重し、レク・日常の活動への参加が出来るよう支援しています。	○ ご本人のおもいを大切にして自分で表出できない場合は家族と職員ともに相談しながら支援していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	行きつけの理容・美容院があり、希望される日に行っています。個人の好まれる服装で、過ごして頂いています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	エプロンの日に食事作り・盛り付け・後片付けをしながら、好き嫌いを調査し、楽しく食事出来るように支援しています。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒・タバコを吸う人はおられません、飲み物・おやつは好まれる物を食べて頂いています。	○ 日常はお茶ですが5のつく日をドリンクサーバーの日としている。今後も継続していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレの誘導と尿取りパッド・リハビリパンツ・オムツと入居者一人ひとりの排泄パターンを把握し、声掛け誘導を行っています。	○	さりげなくご本人に誘導したりと気持ちよく排泄ができるように支援していきたい
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日以外は順番順番を決め交代しながら 毎日、一人ひとりの希望、タイミングに合わせて湯加減をし、ゆったりとくつろげるように入浴支援を行っています。	○	できるだけ本人の希望に添えるように順番等支援していきたいと思っています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼寝をされたり、不眠になる場合は話し相手になりよく聴いて、不安感がなくなり安心して休めるように支援しています。	○	安心して休めるように配慮してできるだけ眠剤の使用が少なくなるように職員で検討していきたい。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理・洗濯物・新聞たたみ・掃除等をされ役割を果たしています。	○	本人の得意とすることが見出せるように努めていきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ショッピングの日を決めて、近所の店に買い物に行き、一人ひとりの希望に応じ好きな品物を買ひ、お金が使えるようにしています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	併設施設の踊り教室、夏祭り、文化祭、運動会に参加しています。	○	施設外へ天気のよい日は散歩に出かけていけるように工夫していきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に応じ、ドライブの日を決めて、毎月外出をしています。	○	車中からの散策ですが大変喜ばれておられるので今後も継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状や暑中見舞いなどを家族や知人に出せるように支援しています。又、公衆電話の設置により自由に利用して頂けるようになっています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	月1回、家族の方へお手紙を出しその中で行事・誕生会などへの参加の呼びかけをし、来所の機会に行っています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	生命に危険がかかわる場合に限りやむ得ずする場合は時間・理由を記載し職員が認識出来ています。	○	今後も身体拘束のないケアを継続していきたい
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にセンサーが設置されておりますが帰宅願望や離設のおそれのある方がおられる時はやむを得ず鍵をかける場合があります。通常は開放するように心がけています。	○	
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に入居者様と一緒に行動し職員一人ひとりが役割分担されており、入居者一人ひとりの行動を把握しています。	○	今後もプライバシーを脅かすことなく安全にケアに配慮していきたい
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者様の目の届かぬ場所、所定の場所に保管、管理してあります。	○	一人ひとりの管理能力に応じて所定の場所に保管していくように努めていきたい
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故発生翌日職員で検討し事故防止対策委員会にて報告・対策し、今後の再発防止に努めています。	○	今後も職員会議にて再度検討事項を職員全員で話しあい検討するよう継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時のマニュアルにそって定期的に訓練行っています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、定期的な避難訓練を実施、又、併設の病院・施設の協力を得て行っています。	○	地域交流のなかで今後も協力が得られるように働きかけて生きたいと思います。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	体調不良時 異常のあった場合や気になる事があった場合は、その都度家族に連絡し対応行っています。	○	転倒、健康状態の変化、感染症予防等家族面会時に説明している。今後も家族連絡を蜜にしていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、バイタル測定をし一人ひとりの観察・記録し又、申し送りにより職員全体が把握できる様に申し送りノートに記録しサインによる確認を行っています。異常時は看護師へ連絡しかかりつけ医師へ連絡し受診する。	○	早期に異常を発見し重症化しないように努めていきたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指示通り、服薬できるように職員全員が支援できています。日々の申し送りや変更時は申し送り簿、口頭の両方にて確認しながら症状の変化に職員全員が共有できるようにしている。	○	今後もお薬説明書を参考に継続していきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の方へは、水分補給の促しや腹部マッサージ等の工夫を行っています。	○	十分な水分、繊維性の食物の摂取、腹部マッサージ、適度な運動を進め便の性状を確認しながら排便管理をしていきたい
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを行なっています。又、介助の必要な方もその都度対応し、一緒に行っています。	○	口腔ケアの大切さを理解していただき今後も継続していきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取量と水分摂取の確認を記録しています、不足している方、飲み込みの悪い方等管理栄養士、主治医に看護師のほうから報告し代替食品にて補給している。	○	今後も継続し食事バランスが保てるようにしていきたい
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルにより対応実施しています。タオルの共用を廃止し、個人のタオルを使用。又、外部からの感染予防のためにも玄関にて手指消毒器を設置しています。抗生剤使用時は感染防止対策委員会にて検討している。	○	今後も感染予防に注意していきたい
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器乾燥機の使用にて、食器・調理用具の衛生管理を行っています。定期的にごップ等の消毒を行っている。	○	継続して清潔に保てるようにしていきたい
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	一般の家庭と同じ玄関作り、又、手作りの表札を両棟の玄関にかける等し、ご家族の方に分かりやすく入って頂ける工夫をしています。	○	玄関周りにいつも花が絶えないようにしていきたい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には、家庭と同じようなテーブルや座布団があり、家庭的な雰囲気ができるよう、工夫しています。	○	落ち着いてすごせる空間づくりにしていけるように工夫していきたい
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間には、ソファがありゆったりとくつろげるスペースや家庭的な空間があり個人物の椅子もありくつろいでおられます。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご使用されていたタンス、座椅子、小物類やお好みの壁掛け、写真など、ご家族と一緒にご自由に装飾されています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	晴れた日には、日中に短時間の換気を行っています。暖房とは、一緒に加湿器を使用しています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	通路には、両側手すりにて安全に歩行されています。浴室、洗面所は滑りにくい床材を使用しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	日常生活の中で、料理や洗濯物たたみ、掃除など出来る事はお願いして手伝って頂いています。また、職員は機会を作るように努めています。	○	入居者様とともに自立した生活ができるように今後も支援していきたい
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外庭、中庭にはプランターでの花植えをして成長を楽しみにしています。建物のまわりにはのびるやよもぎなども多く生え、食材に利用しています。	○	今後も外に出る機会を増やしていき入居者様が活動できるようにしていきたい

## V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

霧島の自然に包まれた環境の中にグループホームがあります。ホーム母体となっている福祉法人の介護保険関連施設、福祉施設、医療法人、病院、が同敷地内にあり相互関連しあっています。ホームは入居者様が中心で毎日の行事に参加しています。、一日の目標は入居者の皆様からの要望で各棟ごとに目標をたて全員で唱和しています。たかちは棟目標「私たちは今日も一日、明るく、楽しく、お互いに助けあい仲良く過ごします。」入居者様同士お互いに支えあい支援していること職員と入居者様の関係がよくできていて家族も含め家族的な雰囲気が保っています。今後運営推進会議により家族また地域との交流も積極的に取り組んでいきたいと思っています。